事業所名：　かがやき

作成日：　平成21年12月4日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	急変時や事故発生時に職員は慌てず適切な対応ができるか。	急変時や事故発生時の対応ができるようになる。	急変時や事故発生時を想定し、マニュアルや緊急連絡表を活用していく。継続的に日常で訓練をしていく。	12 ヶ月
2	4	ホーム全体やリビングを有効に活用して、用具等の整理を行なう事で利用者の安全に移動できるスペースを確保する必要がある。	用具等の整理を行なう事で利用者の安全に移動できるスペースを確保する。	用具等は使用しない場合は収納に入れておく。使用する際にその都度出して、利用者の安全に移動できるスペースを確保する。	1 ヶ月
3		新型インフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行している。	各種感染症の予防と対応策を図る。	利用者の食前、外出後、来客後等の手洗い、うがいの徹底をする。職員の出勤、家族の訪問時等、手洗い･うがいの徹底をして外部からの侵入を防ぐ。人混みの多い場所の外出活動は少なくする。早期にワクチンの接種をする。	3 ヶ月
4		年々、利用者の心身状況の低下や疾病の発症、持病の悪化による通院、入院が多くなってきている。	重度化の予防の為、日頃の早期発見を強化する。家族とのコミュニケーションの向上を図る。	主治医や看護師との連携や機能訓練の継続をしていく。急な通院時の職員体制を整える。	12 ヶ月
5		年々、利用者の身体や歩行能力の低下による点等、ふらつきが見られる。	介護予防体操教室の参加頻度を高める。散歩の継続実施	利用者のやる気を起こさせる声掛けと誘導。空いた時間を活用して、しっかり体操や機能訓練をする。天気の良い日は短い距離でもできるだけ外へ出て散歩をする。	12 ヶ月